

2年数列公式

()組・番号()氏名()

1. 次の公式を書け。

$$(1) \sum_{k=1}^n 1 = \boxed{}$$

$$(2) \sum_{k=1}^n k = \boxed{}$$

$$(3) \sum_{k=1}^n k^2 = \boxed{}$$

$$(4) \sum_{k=1}^n k^3 = \boxed{}$$

2. 次の数列の一般項を求めよ。

(1) 初項 a 、公差 d の等差数列の一般項は、

(2) 初項 a 、公比 r の等比数列の一般項は

3. a, b, c のあいだに成り立つ関係式を求めよ。

(1) 数列 a, b, c が等差数列であるとき、

(2) 数列 a, b, c が等比数列であるとき、

4. 初項 a 、公差 d 、末項 l 、項数 n の等差数列の和を S_n とする。

$$(1) S_n = \boxed{}$$

$$(2) S_n = \boxed{}$$

5. 初項 a 、公比 r の等比数列の初項から第 n 項までの和 S_n は、

$$(1) r \neq 1 \text{ のとき、 } S_n = \boxed{}$$

$$(2) r = 1 \text{ のとき、 } S_n = \boxed{}$$

6. 数列 $\{a_n\}$ の階差数列の第 n 項を b_n とすると、

7. 次の公式を書け。

$$(1) \sum_{k=1}^{n-1} 1 = \boxed{}$$

$$(2) \sum_{k=1}^{n-1} k = \boxed{}$$

8. 数列 $\{a_n\}$ の初項から第 n 項までの和を S_n とすると、第 n 項 a_n は、

2年数列公式

()組・番号()氏名()

1. 次の公式を書け。

$$(1) \sum_{k=1}^n 1 = \boxed{n}$$

$$(2) \sum_{k=1}^n k = \boxed{\frac{1}{2}n(n+1)}$$

$$(3) \sum_{k=1}^n k^2 = \boxed{\frac{1}{6}n(n+1)(2n+1)}$$

$$(4) \sum_{k=1}^n k^3 = \boxed{\left\{ \frac{1}{2}n(n+1) \right\}^2}$$

2. 次の数列の一般項を求めよ。

(1) 初項 a 、公差 d の等差数列の一般項は、

$$\boxed{a_n = a + (n-1)d}$$

(2) 初項 a 、公比 r の等比数列の一般項は

$$\boxed{a_n = ar^{n-1}}$$

3. a, b, c のあいだに成り立つ関係式を求めよ。

(1) 数列 a, b, c が等差数列であるとき、

$$\boxed{2b = a + c}$$

(2) 数列 a, b, c が等比数列であるとき、

$$\boxed{b^2 = ac}$$

4. 初項 a 、公差 d 、末項 ℓ 、項数 n の等差数列の和を S_n とする。

$$(1) S_n = \boxed{\frac{1}{2}n\{2a + (n-1)d\}}$$

$$(2) S_n = \boxed{\frac{1}{2}n(a + \ell)}$$

5. 初項 a 、公比 r の等比数列の初項から第 n 項までの和 S_n は、

$$(1) r \neq 1 \text{ のとき、 } S_n = \boxed{\frac{a(r^n - 1)}{r - 1} = \frac{a(1 - r^n)}{1 - r}}$$

$$(2) r = 1 \text{ のとき、 } S_n = \boxed{na}$$

6. 数列 $\{a_n\}$ の階差数列の第 n 項を b_n とすると、

$$\boxed{n \geq 2 \text{ のとき、 } a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} b_k}$$

7. 次の公式を書け。

$$(1) \sum_{k=1}^{n-1} 1 = \boxed{n-1}$$

$$(2) \sum_{k=1}^{n-1} k = \boxed{\frac{1}{2}n(n-1)}$$

8. 数列 $\{a_n\}$ の初項から第 n 項までの和を S_n とすると、第 n 項 a_n は、

$$\boxed{\begin{aligned} a_1 &= S_1 \\ n \geq 2 \text{ のとき、 } a_n &= S_n - S_{n-1} \end{aligned}}$$

2年加法定理公式

()組・番号()氏名()

1. 加法定理

1. $\sin(\alpha + \beta) =$

2. $\sin(\alpha - \beta) =$

3. $\cos(\alpha + \beta) =$

4. $\cos(\alpha - \beta) =$

5. $\tan(\alpha + \beta) =$

6. $\tan(\alpha - \beta) =$

2. 2直線のなす角

2直線 $y = m_1x + n_1, y = m_2x + n_2$ のなす鋭角を θ とすると $\tan \theta =$

3. 2倍角の公式

$\sin 2\alpha =$

$\cos 2\alpha =$ $=$ $=$

$\tan 2\alpha =$

4. 半角の公式

$\sin^2 \frac{\alpha}{2} =$ $\cos^2 \frac{\alpha}{2} =$ $\tan^2 \frac{\alpha}{2} =$

5. 三角関数の合成

$a \sin \theta + b \cos \theta =$

ただし, $\cos \alpha =$, $\sin \alpha =$

6. 3倍角の公式

$\sin 3\alpha =$

$\cos 3\alpha =$

7. $\tan \frac{\theta}{2} = t$ とするとき, $\sin \theta, \cos \theta$ を t で表すと

$\sin \theta =$

$\cos \theta =$

2年加法定理公式

()組・番号()氏名()

1. 加法定理

$$1. \sin(\alpha + \beta) = \sin\alpha \cos\beta + \cos\alpha \sin\beta$$

$$2. \sin(\alpha - \beta) = \sin\alpha \cos\beta - \cos\alpha \sin\beta$$

$$3. \cos(\alpha + \beta) = \cos\alpha \cos\beta - \sin\alpha \sin\beta$$

$$4. \cos(\alpha - \beta) = \cos\alpha \cos\beta + \sin\alpha \sin\beta$$

$$5. \tan(\alpha + \beta) = \frac{\tan\alpha + \tan\beta}{1 - \tan\alpha \tan\beta}$$

$$6. \tan(\alpha - \beta) = \frac{\tan\alpha - \tan\beta}{1 + \tan\alpha \tan\beta}$$

2. 2直線のなす角

2直線 $y = m_1x + n_1$, $y = m_2x + n_2$ のなす鋭角を θ とすると

$$\tan\theta = \left| \frac{m_1 - m_2}{1 + m_1 m_2} \right|$$

3. 2倍角の公式

$$\sin 2\alpha = 2\sin\alpha \cos\alpha$$

$$\cos 2\alpha = \cos^2\alpha - \sin^2\alpha = 2\cos^2\alpha - 1 = 1 - 2\sin^2\alpha$$

$$\tan 2\alpha = \frac{2\tan\alpha}{1 - \tan^2\alpha}$$

4. 半角の公式

$$\sin^2 \frac{\alpha}{2} = \frac{1 - \cos\alpha}{2}$$

$$\cos^2 \frac{\alpha}{2} = \frac{1 + \cos\alpha}{2}$$

$$\tan^2 \frac{\alpha}{2} = \frac{1 - \cos\alpha}{1 + \cos\alpha}$$

5. 三角関数の合成

$$a \sin\theta + b \cos\theta = \sqrt{a^2 + b^2} \sin(\theta + \alpha)$$

$$\text{ただし, } \cos\alpha = \frac{a}{\sqrt{a^2 + b^2}}, \sin\alpha = \frac{b}{\sqrt{a^2 + b^2}}$$

6. 3倍角の公式

$$\sin 3\alpha = -4\sin^3\alpha + 3\sin\alpha$$

$$\cos 3\alpha = 4\cos^3\alpha - 3\cos\alpha$$

7. $\tan \frac{\theta}{2} = t$ とするとき, $\sin\theta, \cos\theta$ を t で表すと

$$\sin\theta = \frac{2t}{1 + t^2}$$

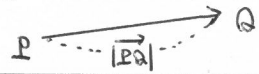
$$\cos\theta = \frac{1 - t^2}{1 + t^2}$$

ベクトル(公式)

向きを指定された線分を **有向線分** という。**有向線分** AA' において A をその始点、 A' をその終点という。また、有向線分 AA' の長さを **大きさ**、または「長さ」という。**有向線分** の位置を問題にしないで、その **向き** と **大きさ** だけを考えてとき、この **有向線分** を **ベクトル** という。1つのベクトルを有向線分を用いて表すとき、その始点は平面の **どの点** にとってもよい。

有向線分 PQ で表されるベクトルを、 \vec{PQ} と書き表す。また、ベクトルは1つの文字と矢印を用いて、 \vec{a} のようにも表される。

ベクトルの大きさは、その有向線分の **長さ** である。ベクトル \vec{PQ}, \vec{a} の大きさを、それぞれ $|\vec{PQ}|, |\vec{a}|$ と書く。



ベクトルの加法
 $\vec{OA} + \vec{AC} = \vec{OC}$

ベクトルの減法
 $\vec{BA} = \vec{OA} - \vec{OB}$

ベクトルの成分 (教科書 P42~45)

ベクトルの成分と相等、大きさ

1 $(a_1, a_2) = (b_1, b_2) \iff a_1 = b_1, a_2 = b_2$

特に $(a_1, a_2) = \vec{0} \iff a_1 = 0, a_2 = 0$

2 $\vec{a} = (a_1, a_2)$ のとき、ベクトルの大きさ 絶対値ベクトルは $|\vec{a}| = \sqrt{a_1^2 + a_2^2}$

3 $(a_1, a_2) + (b_1, b_2) = (a_1 + b_1, a_2 + b_2)$

4 $h(a_1, a_2) = (h a_1, h a_2)$ 5 $h(a_1, a_2) + k(b_1, b_2) = (h a_1 + k b_1, h a_2 + k b_2)$

3. 2点 $A(x_1, y_1), B(x_2, y_2)$ について

$\vec{AB} = (x_2 - x_1, y_2 - y_1)$ $|\vec{AB}| = \sqrt{(x_2 - x_1)^2 + (y_2 - y_1)^2}$

ベクトルの内積 (教科書 P46)

4. 2つのベクトル \vec{a}, \vec{b} のなす角を θ とする。

このとき、積 $|\vec{a}||\vec{b}|\cos\theta$ を \vec{a} と \vec{b} の **内積** といい、記号 $\vec{a} \cdot \vec{b}$ で表す。

すなわち、 $\vec{a} \cdot \vec{b} = |\vec{a}||\vec{b}|\cos\theta$ ただし、 $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$

θ	0°	30°	45°	60°	90°	120°	135°	150°	180°
$\cos\theta$	1	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{1}{2}$	0	$-\frac{1}{2}$	$-\frac{1}{\sqrt{2}}$	$-\frac{\sqrt{3}}{2}$	-1

5. $\vec{a} = (a_1, a_2), \vec{b} = (b_1, b_2)$ とする。

1 $\vec{a} \cdot \vec{b} =$

2 $\vec{a} \neq \vec{0}, \vec{b} \neq \vec{0}$ のとき、そのなす角を θ とすると、

$\cos \theta =$ $=$

6. $\vec{a} = (a_1, a_2), \vec{b} = (b_1, b_2)$ とする。

$\vec{a} \perp \vec{b} \iff$

7. $\vec{a} \cdot \vec{a} =$

$|\vec{a} + \vec{b}|^2 =$

$\vec{a} \cdot \vec{b} =$

8. $\vec{a} \cdot \vec{a} =$ $\vec{a} \perp \vec{b} \iff \vec{a} \cdot \vec{b} =$

9. 2点 $A(\vec{a}), B(\vec{b})$ を結ぶ線分 AB を $m:n$ の比に分ける点 P の位置ベクトル \vec{p} は

$\vec{p} =$

特に、線分 AB の中点 M の位置ベクトル \vec{m} は

$\vec{m} =$

10. 3点 $A(\vec{a}), B(\vec{b}), C(\vec{c})$ を頂点とする $\triangle ABC$ の重心 G の位置ベクトル \vec{g} は

$\vec{g} =$

2点 $A(\vec{a}), B(\vec{b})$ に対し、

ベクトル $\vec{AB} =$

11. 点 P が直線 AB 上にある \iff

12. $\vec{0}$ でない2つのベクトル \vec{a}, \vec{b} が平行でないとする。

$k\vec{a} + l\vec{b} = m\vec{a} + n\vec{b} \iff$

点 E が直線 AM 上にある。 $\iff AE:EM =$

2年ベクトル公式

NO2

5. $\vec{a} = (a_1, a_2), \vec{b} = (b_1, b_2)$ とする。

1 $\vec{a} \cdot \vec{b} = a_1 b_1 + a_2 b_2$

2 $\vec{a} \neq \vec{0}, \vec{b} \neq \vec{0}$ のとき、そのなす角を θ とすると、

$$\cos \theta = \frac{\vec{a} \cdot \vec{b}}{|\vec{a}| |\vec{b}|} = \frac{a_1 b_1 + a_2 b_2}{\sqrt{a_1^2 + a_2^2} \sqrt{b_1^2 + b_2^2}}$$

6. $\vec{a} = (a_1, a_2), \vec{b} = (b_1, b_2)$ とする。

$$\vec{a} \perp \vec{b} \iff a_1 b_1 + a_2 b_2 = 0$$

7. $\vec{a} \cdot \vec{a} = |\vec{a}|^2$

$$|\vec{a} + \vec{b}|^2 = |\vec{a}|^2 + 2\vec{a} \cdot \vec{b} + |\vec{b}|^2$$

$$\vec{a} \cdot \vec{b} = |\vec{a}| |\vec{b}| \cos \theta$$

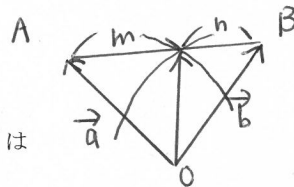
8. $\vec{a} \cdot \vec{a} = |\vec{a}|^2 \quad \vec{a} \perp \vec{b} \iff \vec{a} \cdot \vec{b} = 0$

9. 2点 $A(\vec{a}), B(\vec{b})$ を結ぶ線分 AB を $m:n$ の比に分ける点 P の位置ベクトル \vec{p} は

$$\vec{p} = \frac{n\vec{a} + m\vec{b}}{m+n}$$

特に、線分 AB の中点 M の位置ベクトル \vec{m} は

$$\vec{m} = \frac{\vec{a} + \vec{b}}{2}$$



内分 $mn > 0$ 外分 $mn < 0$

10. 3点 $A(\vec{a}), B(\vec{b}), C(\vec{c})$ を頂点とする $\triangle ABC$ の重心 G の位置ベクトル \vec{g} は

$$\vec{g} = \frac{\vec{a} + \vec{b} + \vec{c}}{3}$$

2点 $A(\vec{a}), B(\vec{b})$ に対し、

$$\text{ベクトル } \vec{AB} = \vec{b} - \vec{a}$$

11. 点 P が直線 AB 上にある $\iff \vec{AP} = t\vec{AB}$ となる実数 t が存在する

12. $\vec{0}$ でない2つのベクトル \vec{a}, \vec{b} が平行でないとする。

$$k\vec{a} + l\vec{b} = m\vec{a} + n\vec{b} \iff k = m, l = n$$

点 E が直線 AM 上にある。 $\iff AE:EM = t:(1-t)$

2年図形と方程式公式

()組・番号()氏名()

1. 数直線上の2点 $A(a), B(b)$ に対して、線分 AB を $m:n$ に内分する点を P 、外分する点を Q とする。

点 P の座標は $x =$ 点 Q の座標は $x =$

特に、線分 AB の中点の座標は $x =$

2. 2点 $A(x_1, y_1), B(x_2, y_2)$ 間の距離は $AB =$

特に、原点 O と点 $A(x_1, y_1)$ との距離は $OA =$

3. 内分点、外分点の座標

数直線上の2点 $A(x_1, y_1), B(x_2, y_2)$ に対して

1. 線分 AB を $m:n$ に内分する点の座標は

特に、線分 AB の中点の座標は

2. 線分 AB を $m:n$ に外分する点の座標は

4. 三角形の重心

点 $A(x_1, y_1), B(x_2, y_2), C(x_3, y_3)$ を頂点とする三角形 ABC の重心 G の座標は

5. (1) 点 (x_1, y_1) を通り、傾きが m の直線の方程式は

6. 異なる2点 $(x_1, y_1), (x_2, y_2)$ を通る直線の方程式は

$x_1 \neq x_2$ のとき、 $x_1 = x_2$ のとき、

7. 2直線 $y = mx + n, y = m'x + n'$ について、

2直線が平行 \iff 2直線が垂直 \iff

8. 点 (x_1, y_1) と直線 $ax + by + c = 0$ の距離 d は

$d =$

9. 2直線 $ax + by + c = 0, a'x + b'y + c' = 0$ について、

2直線が平行 \iff

2直線が垂直 \iff

10. 中心が (a, b) 、半径が r の円の方程式は

特に、中心が原点、半径 r の円の方程式は

11. 円の方程式は l, m, n を定数として

と書ける。

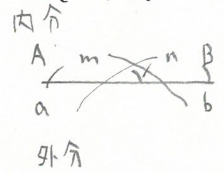
2年図形と方程式公式

()組・番号()氏名()

1. 数直線上の2点 A(a), B(b) に対して、線分 AB を m:n に内分する点を P、外分する点を Q とする。

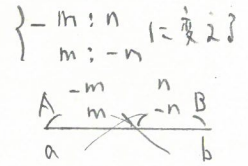
点 P の座標は $x = \frac{na + mb}{m + n}$ 点 Q の座標は $x = \frac{-na + mb}{m - n}$

特に、線分 AB の中点の座標は $x = \frac{a + b}{2}$



2. 2点 A(x₁, y₁), B(x₂, y₂) 間の距離は $AB = \sqrt{(x_2 - x_1)^2 + (y_2 - y_1)^2}$

特に、原点 O と点 A(x₁, y₁) との距離は $OA = \sqrt{x_1^2 + y_1^2}$

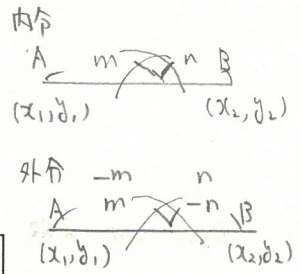


3. 内分点、外分点の座標
数直線上の2点 A(x₁, y₁), B(x₂, y₂) に対して

1. 線分 AB を m:n に内分する点の座標は $(\frac{nx_1 + mx_2}{m + n}, \frac{ny_1 + my_2}{m + n})$

特に、線分 AB の中点の座標は $(\frac{x_1 + x_2}{2}, \frac{y_1 + y_2}{2})$

2. 線分 AB を m:n に外分する点の座標は $(\frac{-nx_1 + mx_2}{m - n}, \frac{-ny_1 + my_2}{m - n})$



4. 三角形の重心

点 A(x₁, y₁), B(x₂, y₂), C(x₃, y₃) を頂点とする三角形 ABC の重心 G の座標は $(\frac{x_1 + x_2 + x_3}{3}, \frac{y_1 + y_2 + y_3}{3})$

5. (1) 点 (x₁, y₁) を通り、傾きが m の直線の方程式は $y - y_1 = m(x - x_1)$

6. 異なる2点 (x₁, y₁), (x₂, y₂) を通る直線の方程式は

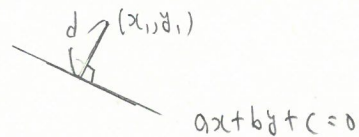
$x_1 \neq x_2$ のとき、 $y - y_1 = \frac{y_2 - y_1}{x_2 - x_1} (x - x_1)$ $x_1 = x_2$ のとき、 $x = x_1$

7. 2直線 $y = mx + n, y = m'x + n'$ について、

2直線が平行 $\iff m = m'$ 2直線が垂直 $\iff mm' = -1$

8. 点 (x₁, y₁) と直線 $ax + by + c = 0$ の距離 d は

$d = \frac{|ax_1 + by_1 + c|}{\sqrt{a^2 + b^2}}$



9. 2直線 $ax + by + c = 0, a'x + b'y + c' = 0$ について、

2直線が平行 $\iff ab' - a'b = 0$

2直線が垂直 $\iff aa' + bb' = 0$



10. 中心が (a, b), 半径が r の円の方程式は $(x - a)^2 + (y - b)^2 = r^2$

特に、中心が原点, 半径 r の円の方程式は $x^2 + y^2 = r^2$

11. 円の方程式は l, m, n を定数として

$x^2 + y^2 + lx + my + n = 0$ と書ける。